BRIDGESTONE　　プッシュマスター

配管リフォーム用継手 接続手順書

・本書をお読みになる前に、必ず当社ウェブサイト掲載の「プッシュマスターカタログ」の注意事項を注意深く読み、よく理解してください。
・製品を使用する前に本書を注意深く読み、よく理解してください。
・いつでも使用できるように本書を大切に保管してください。

注記	注記事項を順守いただかないと、他の財物の損傷、製品自体の故障・損傷、性能不発揮、誤作動などを引き起こす可能性があります。

・ 適合管種以外の規格及びサイズの管は接合しないでください。漏水の原因となります。
・ ナット締付け後にナットを緩めないでください。 また、一度締付けを行った部材を再度使用しないでください。 漏水の原因となります。

適合管種

品番	既設パイプ	新設パイプ
NCRH13J×13A	ポリブテン管　呼び径13 JIS K 6778	ブリヂストン製 ポリブテン管 JIS K 6778
	架橋ポリエチレン管　呼び径13 JIS K 6769 (PN15　XM種) JIS K 6787 (XM種)	
NCRX13J×13AXE ※芯材が金属製	架橋ポリエチレン管　呼び径13 JIS K 6769 (PN15　XE種) JIS K 6787 (XE種)	
NCRH16J×16J	ポリブテン管　呼び径16 JIS K 6778	
NCRH16J×16A ※ナットに切り欠き	架橋ポリエチレン管　呼び径16 JIS K 6769 (PN15　XM種)	

●ポリブテン管は、1997年にJIS規格の改訂を行っておりますが、本製品は、1997年JIS規格改訂以前の管にも接続が可能です。

保証条件と新設管のパイプ接続手順

・ 既設管に起因する不具合については、弊社プッシュマスターカタログ記載の保証条件外となります。
・ 既設管から接続を行います。新設管の接続は、当社ウェブサイト掲載の「プッシュマスターカタログ」に記載されている「パイプ接続手順」に従って作業を行ってください。

株式会社ブリヂストン
TEL：03-5202-6864
https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html

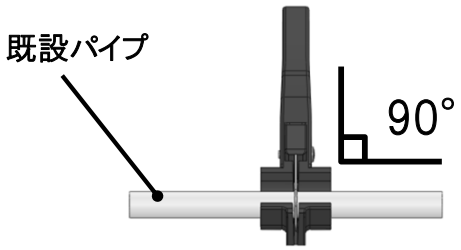
2020.8 S

BRIDGESTONE　プッシュマスター

既設管側 接続手順

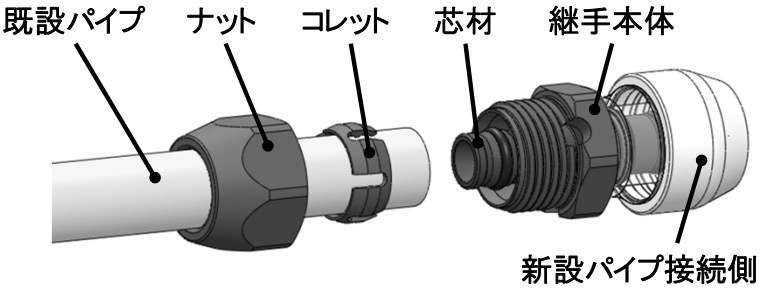
下記①～⑤の接続手順を必ず厳守してください。

① パイプを直角に切断します。



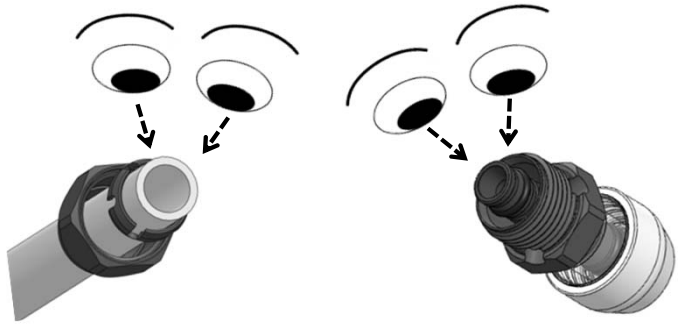
●斜めに切断しないでください。
2mm以上の斜め切断の場合、Oリングが脱落する場合があります。

② ナットとコレットをパイプに通します。



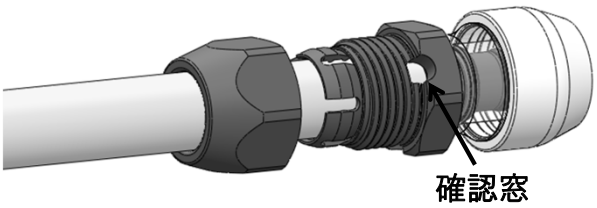
●既設パイプに対応した継手であることを確認します。
●継手からナットとコレットを取外し、ナット、コレットの順でパイプに通してください。
●ナットは図の向きに通します。
通す向きを間違えると締付できません。
コレットに通す向きはありません。

③ 異常がないか確認します。



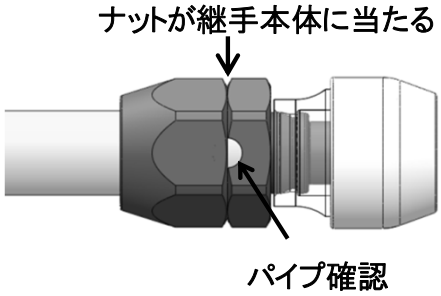
●異物付着、変形等の異常のあるパイプ、継手は使用しないでください。漏水の原因となります。
●劣化(パイプ内面の白化、ひび割れ、減肉等)しているパイプは、使用しないでください。 また、パイプ内外面に傷がある場合は、傷がない部分を使用してださい。漏水の原因となります。

④ パイプを差込みます。



●確認窓からパイプが目視できる位置までパイプを差込みます。差込不足は、漏水の原因となります。
●斜め差込みをしないでください。Oリングにダメージを与える可能性があります。

⑤ ナットを締付けます。



●ナットが継手本体に当たるまで締め付けます。トルク管理は不要です。
※トルク管理する場合の目安
NCRH13J×13A、NCRX13J×13AXE ：25Nm
NCRH16J×16J、NCRH16J×16A ：45Nm
●確認窓からパイプが目視できるか確認します。パイプが目視できない場合は差込不足です。